

令和 6 年度 第 3 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閲覧用

1 開催日時 令和7年2月25日（火） 午後2時00分 開会

2 開催場所 ハートフルかすが

3 出席者 (委員)

北川博巳	会長	大野亮祐	副会長
清瀬真紀子	委員	蘆田長門	委員
谷和義	委員	木原健太	委員
妹尾陽	委員	乳原正文	委員
長谷芳彦	委員	岩佐真寿美	委員[代理出席]
永井敏之	委員	和久明一	委員[代理出席]
長田貴	委員	清水徳幸	委員

委員14名出席

(オブザーバー)

奈良山雄一（兵庫県交通政策課）[代理出席]
大木玲子（丹波市商工会参事）

4 欠席者	竹内和重	委員	新屋敷昭一	委員
	上田脩	委員	芦田恒男	委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

- ①デマンド（予約）型乗合タクシーの利用状況について
- ②デマンドタクシー利用者及び従事者への感謝状贈呈について
- ③路線バスの利用状況について
- ④令和6年度路線バス運行実証実験（11～3月）経過報告及び
令和7年度実証実験について
- ⑤鉄道の利用促進の取組等について
- ⑥令和7年度予算（案）について
- ⑦その他

4) 閉 会

1) 開 会

- 事務局挨拶
- 委員の紹介
- 配付資料の確認
 - 〈事前配布資料〉
 - ・会議次第
 - ・資料1から6
 - 〈当日配布資料〉
 - ・路線バス実証実験乗車実績表
 - ・久下村夜市チラシ

2) 会長挨拶

令和6年度も終わりの時期にさしかかり、丹波市の地域交通はいろんなことがあった1年だったと私自身感じております。現在、丹波市にはデマンド(予約)型乗合タクシー(以下、デマンド)も走っており、路線バスも比較的好調になってきております。

本日の会議は、令和6年度の報告及び令和7年度に向けた事業の協議となります。

3) 議 事

① デマンド(予約)型乗合タクシーの利用状況について(事務局から説明)

【会長】

「①デマンドの利用状況について」何か質問、意見等ございますか。
あわせて運行事業者さんから報告等お願いします。

【委員(運行事業者)】

AIによる配車は、以前と比較して改善されてきている印象はありますが、まだ改良の余地があると考えております。

Web予約の利用者も少しずつ増えていくのではないかと考えております。

【会長】

Web予約と電話予約ともに、予約が入るごとに既存の予約に付け加えるのではなく、予約が入るごとに再計算をし、効率的なルート生成をおこなうアルゴリズムを変更してもらうだけで、配車等もかなり変わったと聞いております。現場(運行事業者等)から様々な意見をいただき、更に良いシステムになるよう進めていただければと思います。

Web予約がまだまだ少ないとのことでしたが、丹波市の自治会では高齢者のスマホ講座等は実施されているのでしょうか。

【副会長】

現在は、多くの自治会で実施されていない状態です。

【会長】

これからの社会は、デジタルをどのように活用するか、利用するかが問われる時代になってきます。

折に触れて事務局でも、スマホ教室の際に、デマンドWeb利用方法をお伝えする機会等があればいいと考えます。

【事務局】

事務局としても Web 利用者増加を目指しています。デマンド利用者はご高齢の方が多いため、ご高齢の方々にも 1 度 Web 予約にチャレンジしていただき、Web 予約の便利さを周知していきたいと考えております。

丹波市の事業でも、「スマホの使い方講座」等もありますので、担当部署との連携も考えております。

青垣の自治振興会から連絡をいただいております。高齢者の方の集いの場でデマンドの利用啓発も含めた、デマンドの説明に来てもらえないかと打診をいただいております。その場で、従来の電話もありますが、Web 予約を積極的に利用していただけるよう発信していきたいと思っています。

② デマンドタクシー利用者及び従事者への感謝状贈呈について(事務局から説明)

【会長】

利用者、運行事業者、オペレーターの方々に感謝しながら、今後もデマンドを運営できればと思います。

「②デマンドタクシー利用者及び従事者への感謝状贈呈について」何か質問、意見等ございますか。

(質問・意見等なし)

③ 路線バスの利用状況について(事務局から説明)

【会長】

「③路線バスの利用状況について」何か質問、意見等ございますか。

あわせて運行事業者さんから報告等お願いします。

【委員(運行事業者)】

毎年、利用者増のグラフを見れて喜ばしいことであり、ありがたいことだと感じております。

丹波市の事例を、好事例としていろんな場所で紹介しております。他にもメディア等で話している中で、他の自治体から「丹波市は好事例と言いながら、今までやってきていないから、やったことでこのような影響が出る。」と言われることもありますが、実際のところ、学生に対しての補助はやっているようにみえて、意外と多くの自治体で実施されていません。神戸市が高校生の通学を無償化したことによって、神戸市営バスがパンパンな状態で、臨時便をかなり出しても追いつかない状態になっています。神戸市でこのような状態になっているのだから、他の自治体でもやれることがもっとあるのではないだろうか、運行事業者として思うところです。

他の自治体は、学生に対する補助を実施している丹波市を見習ってほしいと思います。

【会長】

地域交通の活性化はまちづくりと連動しており、学校の統廃合等の人に対する考え方がポイントとなることを学ぶことが出来ました。まだまだきっかけはたくさんあると思います。きっかけ探しを怠ることなくしていきたいと考えておりますので、皆さんご協力をお願いします。

バスの利用者は、継続してやり続けないと少し気を抜くだけで利用者減少につながりますので、ついては、「ニーズの掘り起こし」が引き続き今後のテーマとなります。

「③路線バスの利用状況について」何か質問、意見等ございますか。

(質問・意見等なし)

④ 令和6年度路線バス運行実証実験(11～3月)経過報告及び

令和7年度実証実験について (事務局から説明)

あわせて運行事業者さんから報告等お願いします。

【会長】

これまでの活性化協議会の会議でも度々議事にあげ、議論をしてきた話題です。1回目は令和5年4月から7月までの期間に春日・市島地域発の丹波医療センター着で社会実験を実施しました。社会実験では、中高生の通学にある程度の需要があることがわかりました。同年11月からは本格運行を見据えた実証実験を3月末までの予定で実施しております。

乗車実績報告では、ある程度の乗車があるとのことでした。

出来れば今後、本格運行を見据えた1年間の実証実験を実施したい旨の提案です。

「④令和6年度路線バス運行実証実験(11～3月)経過報告及び令和7年度実証実験について」何か質問、意見等ございますか。

(質問・意見等なし)

【会長】

前回実験を開始する前に目標が定められていましたが、その目標の達成についてはどうでしたか。

【事務局】

先ほどご説明させていただいた3つの路線の中で、それぞれの路線で目標(目的)があります。元となる実験目的としては、「丹波市地域公共交通計画」におけるバス路線の再編です。また、市周辺地域から中心部(医療センター)への移動手段の研究となっております。

かつては、デマンドの直行便といった議論もありましたが、基幹交通と生活交通の棲み分けをし、路線バスによる遠距離移動を目的としております。

運行時間など制限はありますが、デマンドと路線バス利用を組み合わせでご利用いただくことで、バス路線がなかった市島地域も他の地域と同様に中心部(医療センター)まで移動手段の確保をすることが出来ました。

市島地域は鉄道がありますが、高齢の方や身体に障がいがあり跨線橋を渡ることが出来ない方もおられます。ノンステップのバスで移動できるということ、1つの移動手段が確保できたのではないかと考えております。

遠距離通学児童への支援では、春日地域においては、中高生で多くの学生に有効利用されています。今までは自転車通勤する、保護者に送迎してもらう等の登下校手段だったところ、公共交通機関を利用し登下校できるようになったことで、保護者の方からも通学の際の送迎負担が減った、今後も継続してほしいといったご意見をいただいております。

今後のことではありますが、小学生の通学支援で統合により毎日美和地区の児童約70名の乗車があり本格運行後の移動需要は確保されています。

以上のことから、実験目標(目的)は現時点では達成しており、十分に達成見込みがあります。

【会長】

事務局からの説明をうけて何か質問、意見等ございますか。

(質問・意見等なし)

【会長】

途中経過ですがここまでの実績として以下のことが分かります。

- ・野瀬線は、中高生の通学利用が継続しており、非常に高い需要が続いている。
 - ・市島地域の美和地区からライフピアいちじままでの運行は現状ほとんど利用がない。
- しかし来年4月からは統合小学校の通学手段となるので将来的な需要は見込める。

- ・ライフピアいちじまから医療センターまでの利用は、多くはないものの、周辺部から中心地までの直行便として利用がある。主に午前便での利用の方が多い。
- これらの実績は昨年4月から7月までの社会実験の時と同様の利用状況であることが分かります。

この利用状況を踏まえて、今後の取り組みについて、本格運行は令和8年4月の美和地区の小学校統合時を想定していますが、現在の実験は3月までとなり、1年間の空白期間が生じてしまいます。

しかし、春日の野瀬線においては既に中高生の通学手段として需要が確立されており、市島の美和地区では統合を控えて路線の整備やバス停位置の検証など、具体的な運行内容を詰めていく必要があります。

路線バス利用の機運醸成も含めて、来年4月まで間を空けずに継続した運行が必要との事務局の提案により、お手元資料の運行ルート、時刻で令和7年4月1日から令和8年3月31日までの実証実験の実施を協議会で承認するか決めていきたいと思えます。

続いて、運行事業者さんからご意見等お願いします。

【委員(運行事業者)】

報告書にある利用者の数をみていると、登下校の際に路線バスを利用する生徒が固定されつつあることがわかります。学生さんは途中で時間が変わったり、便がなくなったりすると二度と乗車しないという傾向がありますので、このままもう1年引き続き実証実験として運行して、本格運行にシフトという形にすることで、進級生も新入生もスムーズに路線バス通学につなげることができ、保護者にとっても生徒さんにとっても安心できる材料ではないかと考えております。

【会長】

来年度も引き続き、本格運行に向けた実証実験を実施するという事でよろしいですか。

(異議なし)

【事務局】

この採決をもちまして、当協議会より協議が調っていることの証明を出させていただき、ウイング神姫様より次年度以降の運行について、兵庫陸運部へ申請いただくこととします。なお、運行時刻等軽微な修正は、会長と事務局調整により進めさせていただきたく存じますのでご了承ください。

また、来年度の間に先ほど申しましたように通学に関する調整事項等で、バス停位置や運行時刻の修正がある場合は、再度来年度中の活性化協議会にかけさせていただきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

⑤ 鉄道の利用促進の取組等について(事務局から説明)

【会長】

「⑤鉄道の利用促進の取組等について」何か質問、意見等ございますか。

あわせて運行事業者さんから報告等お願いします。

(質問・意見等なし)

【委員(運行事業者)】

12月27日 谷川駅周辺で「JR加古川線全線開業100周年イベント」を開催させていただきました。当日寒い中ではありましたが、天候にも恵まれ大勢のお客さまにお集まりいただきました。

また、大阪・関西万博期間中、加古川線の増発と一部の特急「こうのとり」号の谷川駅臨時停車の実施についてプレス発表しております。

【会長】

日々の利用をどのように伸ばしていくかが大事なポイントとなってくるかと思います。

⑥ 令和7年度予算（案）について(事務局から説明)

【会長】

この予算案で7年度実施しますということですが、3月丹波市議会での承認により執行が可能となります。

「⑥令和7年度予算（案）について」何か質問、意見等ございますか。

【委員】

丹波新聞で丹波市の予算について掲載されていましたが、公共交通で5,300万円とあったが、5,300万円の中にデマンドの車両入れ替えの新車購入の費用は組み込まれているのでしょうか。

【事務局】

丹波新聞に掲載してあります令和7年度予算については、本会議の活性化協議会の予算とは異なるものではございます。計上しております経費の内訳としては、主に実証実験の運行経費と令和8年度からの本格運行を見据えての大型バス購入費用として計上しております。

デマンド車両については、デマンド会で協議している令和8年度以降に更新についてご相談させていただくということで現在協議中でございます。

【会長】

丹波新聞に掲載されていたのは、丹波市の公共交通の予算で、本日の予算(案)は活性化協議会の予算(案)であるため、金額が違います。

車両更新については、8年度以降に更新する計画です。プログラム化したので、そのプログラムに基づいて車両更新を実施していきましょう。

【事務局】

デマンド車両については、一定のサイクルで更新が必要になってくるかとは思いますが、予算の確保も含め市の方で検討を進めてまいります。

来年度(7年度)としては計上しておりませんが、今後の検討課題であると認識しております。

【会長】

その他何か質問、意見等ございますか。

(質問・意見等なし)

4) その他

① 次期委員の委嘱について

【事務局】

令和7年3月31日をもって、現在の委員の皆様の任期はいったん終了になりますが、次期令和7年4月1日以降におきましても、引き続き委員としてお願いを申し上げます。

なお、組織内の異動などにより交代される場合は、事務局までご連絡をいただきますようお願いいたします。

② 次回開催日について

【事務局】

- ・ 次回開催日について・・・令和7年6月頃目途開催

4) 閉 会

【副会長】

本日は長時間にわたり慎重に議論いただきありがとうございました。

会議序盤に会長から話がありましたスマホ教室についてですが、私の母は88歳になりますがスマホでLINEを一生懸命やっております。デマンド利用者の方々もWEB予約等慣れてしまえば出来るものだと思いますので、自治会長会の理事会でも啓発と自治会に対して少しでもデマンドの利用者が増えるようお願いを進めてまいりたい。

本日の会議はこれにて終了とさせていただきます。